

令和元年度 学校教育目標等の達成状況評価まとめ (各種アンケートの結果を踏まえて)

学校教育目標「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童生徒の育成」

今年度の学校評価にあたり、上記学校教育目標を「自ら学ぶ子の育成」「個性豊かな子の育成」「国際社会に生きる子の育成」の三つに分け、教師、保護者、児童生徒へアンケートを実施した。また、知徳体のバランスのとれた児童生徒の育成の観点から、「健康・体力・安全等」「学校環境・その他」を追加して、学校教育活動全体をできるだけ網羅できるようにアンケート実施し、評価考察を行うこととした。

また、学校教育目標に関連する項目(1)～(3)については、全職員が校内研修において検討した「身につけさせたい力」を具体的に示すとともに、関連する質問項目を設定した。

1 全体概要

教師、保護者、児童生徒のアンケート結果から、「そう思う」「ある程度そう思う」の肯定的結果の割合(%)を示す。

(1) 自ら学ぶ子の育成

総合結果	91.4%	教師結果	90.3%	保護者結果	97.2%	児童生徒結果	86.7%
------	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------

(2) 個性豊かな子の育成

総合結果	92.8%	教師結果	90.3%	保護者結果	96.1%	児童生徒結果	92.0%
------	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------

(3) 国際社会に生きる子の育成

総合結果	88.6%	教師結果	84.7%	保護者結果	95.0%	児童生徒結果	86.1%
------	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------

(4) 健康・体力・安全等

総合結果	82.6%	教師結果	72.0%	保護者結果	90.5%	児童生徒結果	85.4%
------	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------

(5) 学校環境・その他

総合結果	86.8%	教師結果	75.8%	保護者結果	97.8%	※児童生徒項目なし	
------	-------	------	-------	-------	-------	-----------	--

<総合評価>

総合結果	88.5%	教師結果	82.6%	保護者結果	95.3%	児童生徒結果	87.6%
------	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------

上記(1)～(5)の項目を総合的に評価した結果、教師、保護者、児童生徒の88.5%が、本校学校教育活動に対して肯定的に評価していることが分かった。これは、本校学校教育目標である「自ら学び、個性豊かに国際社会に生き抜く児童生徒の育成」が概ね達成できていると考える。引き続き、諸課題の解決を図り、達成状況の向上を目指したい。

2 各項目の評価総括

(1)自ら学ぶ子の育成 <身につけさせた力>

○主体的な力、課題設定力、関わり合う力、自ら働きかける力、自己実現に向かって行動する力

<教師・保護者 学校評価アンケート>

	アンケート項目	教師	保護者
1	「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりに努めている。	83.9	
2	基礎的な学力の定着を図り、それらを活用する指導の工夫をしている。	93.5	
3	子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。	96.8	
4	主体的に校内研修に参加し、学んだことを実践している。	87.1	
5	学校は基礎的な学力の定着を図り、それらを活用する指導の工夫をしている。		97.7
6	学校はお子さんの能力や努力を適切・公平に評価している。		99.6
7	お子さんは学校の授業は分かりやすいと言っている。		94.3
	平均	90.3	97.2

<考察>

教師アンケートの結果は平均90%を達成しており、十分達成していると考えられる。設問1の「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりは、新学習指導要領における最重要項目の一つである。今後も児童生徒が生涯にわたって主体的に学びつづける礎を築いていけるよう、全職員で校内研究を継続し教師の授業力の向上を図っていきたい。保護者アンケートの平均は97.2%と高い評価であり、引き続き学校の取り組みなどについてお知らせしていきたい。

<児童生徒 学校評価アンケート> 小学部3年生から中学部3年生がアンケート対象

	アンケート項目	
1	自分の夢や目標を持っていますか。	91.7
2	自分の夢や目標に向かって努力していますか。	85.8
3	あなたは努力することで目標が実現すると思いますか。	90.7
4	めあてを意識して授業に参加していますか。	88.4
5	授業中は先生や友達の話をよく聞いていますか。	91.1
6	授業中は自分の考えをノートに書いたり、発表したりしていますか。	86.5
7	宿題や家庭学習（塾も含む）に進んで取り組んでいますか。	88.1
8	学習用具などの忘れものをしない。	79.8
9	進んで読書をしていますか。	78.4
	平均	86.7

<考察>

設問1～7の結果から、児童生徒は夢や目標を持つことや努力することについて、その大切さを意識していると考えられる。また、授業や家庭での学習に主体的に取り組んでいると考えられる。設問8、設問9の「学習用具の忘れ物」と「進んで読書をする」項目で課題が見られたので、引き続き家庭と連携を図って取り組んでいきたい。

(2)個性豊かな子の育成 <身につけさせたい力>

○自ら働きかける力、表現する力、関わり合う力、他者を受け入れ、違いを認め合う

<教師・保護者 学校評価アンケート>

	アンケート項目	教師	保護者
1	学校全体に活気があり、子ども達が生き生きと活動している。	90.3	96.7
2	丁寧な言葉遣いに配慮するなど適切な言語環境に努めている。	87.1	92.6
3	学校は進んであいさつをする態度を育てようとしている。	80.6	94.7
4	学校は命の大切さや人権を尊重する意識を育てようとしている。	96.8	98.0
5	学校は子どもの個性や良さを伸ばすための行事などの工夫を行っている。(異文化交流会、運動会、学習発表会、修学旅行、宿泊学習等)	96.8	98.5
	平均	90.3	96.1

<考察>

平均して、教師、保護者ともに平均90%以上を達成しており、十分達成したと言える。しかし、設問3のあいさつ指導については、教師と保護者の評価結果に大きな差(14.1ポイント)がみられる。教師は日常的に児童生徒のあいさつの様子を観察しているのので、実態に近い数値と言える。今後も職員全体で共通理解を図り、学級指導、全体指導、児童生徒会活動、委員会活動などを通して、あいさつをする態度の育成に取り組んでいく必要がある。設問4と5については教師、保護者とも高い評価となっており、引き続き、命の大切さや人権教育に力を注ぐとともに、様々な体験的な活動を通して個性豊かな子の育成に力を入れたい。

<児童生徒 学校評価アンケート> 小学部3年生から中学部3年生がアンケート対象

	アンケート項目	
1	あなたはできないことや難しいことにも努力して取り組んでいますか。	86.8
2	友達と仲よくすることができていますか。	93.4
3	係活動や当番の仕事を一生けんめい取り組んでいますか。	90.1
4	運動会や学習発表会などの行事に進んで取り組んでいますか。	93.1
5	あなたは、「人の役にたった、他人に喜んでもらった」という経験がありますか。	93.4
6	あなたはできるようになって満足した経験がありますか。	95.7
7	あなたにはよいところや得意なことがありますか。	91.1
8	道徳の授業では問題について考えたり、友達に考えを伝えたりしていますか。	92.1
	平均	92.0

<考察>

設問2～8まで平均90%以上を達成し十分達成したと言える。設問(1)は「自ら学ぶ子の育成」2の項目「自分の夢や目標に向かって努力していますか」(85.8%)とほぼ同じ結果となっている。引き続き、一つ一つの教育活動を通して、児童生徒が努力することや努力して目標を達成することの大切さに気付かせる取り組みを充実させたい。

(3) 国際社会に生きる子の育成 <身につけさせたい力>

○異文化を理解する力、外国語などのコミュニケーション能力、発信する力、
学びに向かう力、など

< 教師・保護者 学校評価アンケート >

	アンケート項目	教師	保護者
1	学校は、児童生徒の指導において大型提示装置（プロジェクター、電子黒板）などのICTを活用した授業の工夫を行っている。	100	96.8
2	学校は英語や中国語指導、異文化交流などを通して国際性を育てよう努めている。	90.3	96.3
3	学校は、自分の考えを発信する力をつけるための工夫を行っている。	80.6	94.2
4	学校はねばり強く最後まで頑張ることのできる児童生徒の育成に努めている。	67.7	92.6
	平均	84.7	95.0

< 考察 >

保護者の平均結果は95.0%と十分達成したと言えるが、教師の結果は、設問4「ねばり強い児童生徒の育成」について課題が大きいと、平均84.7%となっている。具体的にどのような点があるのか結果につながったのか教職員で検討し改善を図っていきたい。設問(1)のICTを活用した授業の工夫についてはすべての教師が日常的に実践できており、次年度はiPadを活用した授業に取り組んでいくなど更なるICTを活用した授業の充実を目指したい。

< 児童生徒 学校評価アンケート > 小学部3年生から中学部3年生がアンケート対象

	アンケート項目	
1	いつでも気持ちのよいあいさつをすることができますか。	84.2
2	ていねいな言葉づかいをすることができますか。	79.0
3	友達と協力して物事に取り組んでいますか。	94.3
4	英語や中国語の学習に進んで参加していますか。	86.4
5	授業や集会におくれないように時間にけじめをつけていますか。	86.6
	平均	86.1

< 考察 >

設問1、2の「気持ちのよいあいさつ」と「ていねいな言葉遣い」において課題がみられた。あいさつや言葉遣いはコミュニケーションにとって最も大切なことの一つである。前述の設問「進んであいさつをする態度」で教師の評価が低い(80.6%)ことに関連し、児童生徒自身についても、まだ十分であると感じていないようである。日々の様々な活動の充実を図り、児童生徒自身の評価も上がるように努めたい。家庭との連携を図りながら、指導の充実に努めたい。設問3の結果から「協力して物事に取り組む」児童生徒が多いことが分かる。今後、児童生徒が「予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となる」よう、様々な課題に対して、他者と協力してその解決を図っていくことや、様々な情報を見極める力を育てていきたい。

(4)健康・体力・安全等

〈教師・保護者 学校評価アンケート〉

	アンケート項目	教師	保護者
1	学校は児童生徒の体力の育成の為に努力している。	58.1	83.7
2	学校は校内の安全点検・整備を行い、安心安全な環境づくりに努めている。	71.0	98.4
3	いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努め、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいる。	87.1	89.4
	平均	72.0	90.5

〈考察〉

設問1「児童生徒の体力の育成」に教師及び保護者で大きな課題がみられる。体育の授業のみならず、行事や各種活動、休み時間など学校教育全体を通して体力の育成に努めていきたい。また、授業中の事故に対する学校安全環境の充実はもとより、日常的な安全点検を徹底し、課題箇所については早期の安全措置を講じていきたい。

設問3については、児童生徒のよりよい人間関係を育むとともに、日常の学習活動や学校生活の様子を丁寧に観察し、保護者と連携しながら、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいきたい。

〈児童生徒 学校評価アンケート〉 小学部3年生から中学部3年生がアンケート対象

	アンケート項目	
1	自分の体調に気をつけて健康な生活を心がけていますか。	90.0
2	好き嫌いせず、お弁当をのこさず食べていますか。	87.0
3	進んで体を動かし、体力の向上に努めていますか。	84.9
4	ろうかには走らないで安全に気をつけて歩いていますか。	69.3
5	避難訓練の時には決まりを守って行動していますか。	95.7
	平均	85.4

〈考察〉

設問5「避難訓練時の行動」は毎月継続して行い、児童生徒の決まりを守った行動が意識づけられていることが分かる。廊下の安全な歩き方については、児童生徒の意識はあるものの、ついつい走ってしまうことが日常的に見られる。学級指導をはじめ様々な機会を捉えて継続的な指導を行っていく。

(5) 学校環境・その他

〈 教師・保護者 学校評価アンケート 〉

	アンケート項目	教師	保護者
1	学校は保護者を学校に迎え入れる雰囲気をつくっている。	83.9	98.9
2	学校は授業参観及び懇談会、通信、ホームページ等を通して、学校や子どもの様子を保護者に伝えている。	93.5	97.7
3	学校は児童生徒及び保護者からの相談に適切に応じている。	87.1	97.3
4	教室内の掲示物やロッカーの整理整頓に努め、学習環境を整えている。	87.1	97.4
5	学校経営に参画意識を持ち、決まった事柄の実践と達成について、お互いに助け合う努力をしている。	74.2	
6	学校は特別支援の充実に向けて、校内体制等が整備され、個々のニーズに応じた支援が図られている。	29.0	
	平均	75.8	97.8

〈 考察 〉

保護者結果の平均(97.8%)から十分達成したと言える。今後も引き続き、学校便り、学級通信、行事の紹介(HP「学校の窓」)などを通して、学校や子どもの様子を様々な機会を捉え保護者に伝えていきたい。

設問6の特別支援教育の充実については、在外教育施設という国内とは異なる環境のため校内指導体制等で大きな課題が見られた。今後も児童生徒の学習や日常生活などにおける課題を把握するとともに、保護者とも課題を共有し、児童生徒の個々の特性に応じた指導の充実を図っていきたい。また、必要に応じて課題改善のため、適宜保護者と話し合い、よりよい指導のあり方を検討していきたい。

〈 資料 〉 平成31年度(令和元年度)全国学力状況調査の結果(正答率)

小学部6年生

	本校	全国	全国差
国語	78.4	63.8	+14.6
算数	75.8	66.6	+9.2

中学部3年生

	本校	全国	全国差
国語	82.0	72.8	+9.2
数学	85.1	59.8	+25.3
英語	87.3	56.0	+31.3